

# 2012年 4月のアンガージュマンの予定

利用は会員となり、フリースペース、キックオフプロジェクト、相談・コーディネート、学習サポート等をお選び下さい。まずは電話などでお問い合わせ下さい。見学も大歓迎！

月(Mon) 火(Tue) 水(Wed) 木(Thu) 金(Fri) 土(Sat) 日(Sun)

4月から フリースペースの 利用時間は 10:00～16:00となります。	<b>新年度！</b> フリースペースはよりいっそう フリーダム(自由)に！！ その日のニーズに合わせた柔軟な運営を行います。						1
2 会議の為 フリースペースは 3:30に閉室です。 学習サポート	3 学習サポート	4 12:00 昼食会 (300円) 学習サポート	5 学習サポート	6 学習サポート	7 学習サポート	8 保護者会 14:00～16:00	
9 学習サポート	10 学習サポート	11 12:00 昼食会 (300円) <b>山形物産市</b> (はるかぜ書店前) 学習サポート	12 学習サポート	13 学習サポート	14 学習サポート	15 学習サポート	
16 学習サポート	17 学習サポート	18 12:00 昼食会 (300円) pm 2:00 ボランティア ミーティング 学習サポート	19 リエゾン団 宅配 学習サポート	20 学習サポート	21 学習サポート	22 学習サポート	
23 学習サポート	24 学習サポート	25 学習サポート	26 学習サポート	27 学習サポート	28 学習サポート	29 学習サポート	
30 4/21～5/6は 移転作業の為 あばうと・ネクストは お休みします。 キックオフは別途 お知らせします。							

## 4月のボランティア募集

参加希望の方は801-7881までご連絡下さい。

イベント	日付	定員	主な活動内容
フリースペース	土日祝 除く	5名	話やゲームの相手、共に過ごす
物産市	4/11	3名	物品販売、陳列、チラシ配布
物産宅配	4/19～20	3名	検品、仕分け、梱包、配達
昼食会	4/4, 11, 18	3名	調理、盛りつけの補助
通信発送作業	4/27	3名	通信の折り、封入、封止め
下校時の防犯	平日		

移転作業に伴い、予定変更の可能性があります。ご訪問の際は、事前に連絡をお願いいたします。利用者の皆さんには、入口の黒板に掲示します。

2012年(平成24年)

4月1日 発行

アンガージュマンとはフランス語で社会参加という意

# Le Engagement

Engagement  
Eyokosuka

NPO法人アンガージュマン・よこすか

発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4 電話：046-801-7881  
<http://engagement.angelicsmile.com/> 発行責任者：滝田衛 編集責任者：石井利衣子  
[http://blog.canpan.info/engagement/\(ブログ\)engagement@angelicsmile.com\(メール\)](http://blog.canpan.info/engagement/(ブログ)engagement@angelicsmile.com(メール))

第98号

第10回就労支援ネットワークフォーラム 開催！

## 「高校中退者、若者の社会環境そして就労支援」

昨年3月に予定していた第10回目のフォーラムを一年越しで開催した。平成18～22年度にかけて「かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金」を受け、神奈川県との協働を以て若者の就労支援に取り組んだ。と同時に啓発や活動報告のために年2回のフォーラムを開催してきた。今回の開催はその集大成としての意味合いがある。また、昨年子ども・若者育成支援推進法施行を受け、広く市民に対して子ども・若者支援を啓蒙する機会とする意図もある。

第一部の基調講演は「生きにくさを抱える若者をどう支えるか」の演題で放送大学教授の宮本みち子さんをお願いした。官・民のネットワークの意義、

教育・福祉への投資としての社会保障という考え方をお話しいただいた。



第二部では実践報告をNPO等3団体が行った。神奈川県内にはユニークな活動を行っている団体はあるものの、数はそう多くはない。団体同士のつながりはゆるやかだが存在すること自体が全国的に稀有だ。

第三部のパネル討論は宮本さんを始めとし、県内NPOの代表者と自治体の現場担当者からお話を伺った。官民のネットワークはまだ始まったばかり。これからの活動に期待をしてほしい。



市長と内閣府梅澤氏を始めとして、多くの来賓のご参加をいただいたことを紙面を借りて御礼申し上げます。(島田徳隆)

## 会員の皆様へ 移転・統合のお知らせ

この度、2012年4月末日をもって、2006年よりはるかぜ書店及びharucafeの営業を行ってきた店舗の賃貸契約を解消し、全ての機能を現在フリースペース及び学習サポートの場所へと統合することと致しました。本来なら会員の皆様のご判断に委ねるべきところですが、理事会の判断をもって実行させて頂くことと致しました。

事業につきましては、それぞれが有機的に連携していることが利用者にとって有用な場と機能の提供につながると判断し、全てを継続して行います。また、活動拠点を一つにまとめることによって、経費削減が出来るだけでなく、事業間の連携をより円滑にすすめることができると考えております。

6年という時間を掛けて築いてきた店舗を手放すことは苦渋の決断ではありますが、法人の活動継続という大きな目的の為とご理解頂ければと存じます。また皆様から寄せられた基盤整備寄付・認定NPO寄付は趣旨どおり使用させて頂きます。

6月の通常総会において、改めて皆様にご報告し、今回の判断をご承認頂ければ幸いに存じます。なお移転作業の為、春期休業が例年とは異なり変則的となります。ご迷惑をお掛け致しますが、裏面日程にてご確認下さい。

## ネクスト 春、新たな旅立ちへ

学習サポート・ネクストでは新たな出会いに向けて中学3年生5人が卒業していきます。公立全日制高校、私立高校そして定時制高校等へと進学します。「高校へは行かない」「勉強は嫌いだ」と通い始めた時に言っていたことがウソのようです。学ぶことが大切であることは子ども自身が良く知っているのですが、学校へ行かないことで悩んでいるとついつい学びに力が入りません。講師と1対1で向き合う中、少しずつ学ぶことに目覚めゆっくりと学びを復活していく過程は、実に感動的です。学ぶ力は1人1人違いますが、学ぶ時間と学びに向き合う姿勢は一人一人に確実に力となります。語りつくされたことですが、卒業していった高校生が帰ってくる度に「勉強しておけよ」の言葉がこのことを物語っています。

4月以降も新たな仲間を迎え、中学進学、高校受験そして高卒認定試験や大学受験へ向けてチャレンジが続きます。一緒に学びを始めましょう。(滝田衛)

## リエゾン団 チェック体制の確立へ

3月のリエゾン団では、お米の宅配でトラブルがあり改善が必要でした。お米の宅配ですが山形物産市と同日に行われていて、いつ誰が何処へ行くのかが明確にはされていない為にお客様より「まだお米が届かない」とのクレームが入りました。

これがきっかけで、誰でもチェックが出来る月別お米の定期購入表を作成することになりました。この表は、注文内容の確認・配達完了の確認が出来るものとなりました。徐々に使いやすい物へ改善しつつ、今回あった配達漏れなどを未然に防ぐ事が出来るようにと考えています。(石川藍)

## ボランティア 県指定NPOへ...皆さんのご参加を!

3/14のボランティア・ミーティングでは、年度末にあたり、今年のボランティア状況についてお伝えしました。2月に神奈川県NPO協働推進課から、県指定NPO制度の申請手引きに、「無償のボランティアの人数・総時間」を記入する項目があります。詳細を示すと、2010年度49人の方にかかわっていただき、年間2,001時間(月平均166時間)でした(利用者通室記録より)。県では月平均400時間が基準とされていますので、なかなか手ごわい数字です。法人としては、前年から比べるとかかわっていただいている人数は2倍に、時間数は10倍になってはいますが、より多くの皆様の協力によって私どもの活動が成り立っていることを示すことが必要になっています。様々な方々のかかわりが、法人を利用する子ども・若者にとっても、社会の多様性を大人とのかかわり(人生観、価値観など)のなかから感じる機会になるので、ボランティアデビューをお願いします!(石川隆博)

## 保護会 不登校の親の苦勞と苦痛を理解しあって

3月11日(日)は東日本大震災から1年、途中2時46分には一同で慰霊と復興への黙とうを捧げました。12人の親御さんが集まりました。この日は中学生の不登校がメインテーマとなりました。学校へ行かない子どもと向き合う親の苦痛を、不登校を受け入れながらも高校進学への道筋づくりへの親の悩みを、そして不登校を経て高校進学し高校生活をエンジョイしながらも単位不足に苦戦する子どもと向き合う親の不安などが語られます。すると20代のひきこもりの子どもを持つ親から優しく包み込む共感と励ましの言葉が贈られ、何時もの様に保護者会は穏やかな空気に変わります。親の悩みも大きいのですが、悩んでいるのは本人、子ども自身であることに気づき始めると、子を思う親の愛しい心が復活し、何時の間にか笑顔と笑いがあふれ出します。これは、決して慰め合いではなく、悩んでいるからこそその共感と信頼の親の会、自助活動の力に他ならないのです。保護者会は毎月第2日曜日の2時から、フリースペースで行っています。1人で悩まずに足を運んで下さい。(滝田衛)

## キックオフ 市内の企業で仕事体験!

2月~3月にかけての約一ヶ月間、研修生の皆さんには書店等での研修と並行して仕事体験をしてもらいました。JR田浦駅から徒歩数分の所にある株式会社トーヨーという電子電気機械用部品の組立加工などを行っている会社です。研修生達は週3日の割合で朝9時から夕方5時迄、与えられた部材をドライバーや電気ドリルを使って組み立てていくという仕事を体験しました。家の都合などで時間短縮せざるをえなかった人もいましたが、全員最後まで無事に体験をすることができました。この経験をこれから生活に生かしてくれたならと思います。

スマさんのお話を重ねて研修生が創り上げた映像作品の上映会。研修生の想いが伝わります。



## 会員の皆様へ

新たな事務局・スタッフ体制へ 代表と理事長を交代します

第10回就労支援フォーラムへの会員の皆様方のご参加に感謝申し上げます。この1年、法人運営を改編するために寄附をお願いし、趣旨のご理解を頂き実に多くの寄附をお寄せいただきました。重ねて御礼を申し上げます。新年度4月より認定NPOへ向け、そして開かれた子ども若者育成への法人を確立致します。さて私、滝田衛は楽しく苦勞させて頂きました8年間のNPO法人運営から卒業いたします。2011年(平成23年)度は若手事務局が若者らしい運営を手に入れ始め、事務局長石井を中心とする体制が確立し始めました。この機会に60歳を過ぎましたので若者に未来を委ねます。今後は裏方に徹し法人と子ども若者支援を進めていきます。また長年一緒に活動してきました助川英一、この1年子どもたちに寄り添ってこられた小幡沙央里と安倍千央が退職します。今後ともNPO法人アンガージュマン・よこすかへのご支援をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。(滝田衛)

上記につきまして、事務局からの補足です。

滝田の「卒業」発言について、皆様方にはご心配とご不安をお掛けしていることと存じます。法人設立より先頭に立ってこの法人を率いてきた滝田はこの活動の広がりや継続を強く願い、それを実現するためには次世代を担うスタッフの育成、現代のニーズを的確にとらえての運営が不可欠と日頃より申し上げているところです。また、これをもって法人を離れるという事ではなく、理事としては変わらずに法人の意思決定に参画するとともに、相談等の必要な業務においては皆様方との関わりを続けていくとの意向です。この度は、滝田の意向を皆様にお伝えするという意味で上記掲載を致しましたが、あくまでも理事長の変更は理事会及び総会の決定に委ねられるところです。会員の皆様におかれましては、ぜひ総会にご出席頂きご判断頂ければと存じます。24年度通常総会は6月初旬を予定しております。それまでも、ご意見等ございましたらお聞かせ頂ければと存じます。よろしくお願い申し上げます。(事務局長 石井)

## 2012年3月をもって退職する助川さん・小幡さんからのメッセージ!

すけさん

アンガージュマンで楽しかったこと  
毎日が楽しかった。山形や小田原、キャンプにでかけた事は、特に印象に残っています。

自分にとってアンガージュマンでの経験とは?  
学生時代からの夢の実現。様々な人との出会い。  
この経験の上になにかを造り上げていきたい。

今後の抱負  
生き馬の目を抜くこの世の中で、目を抜く方にも、抜かれる方にもならず。  
力強く、面白おかしく生きていきます。

さおりん

アンガージュマンで楽しかったこと  
たくさんの人に会えたこと!! 老若男女!? たくさんの人といっぱい話せて、新鮮で、楽しかったです。水曜日の昼食会、日々の授業、みんなのわけのわからない話(笑)ハロウィン、月食観測会...。みんな良い思い出です。みんなにとってもよくしてもらって、私は幸せでした。

自分にとって、アンガージュマンでの経験とは?  
知らない分野のことを学べました。一年間通しているんなことを知り、少しずつ自分の考えがかわっていった気がします。様々な人たちの色んな視点からのもの見方にふれられたことは、良い経験だと思っています。

今後の抱負  
たくさんモノを見て、人と出会って、いっぱい考えて、勉強して、違う視点で物事を見ることのできるようになって、自分で納得のいく自分になれば、新しいことに挑戦します。  
頑張ります。